

報告書抄録

ふりがな	ふくいじょうあと							
書名	福井城跡							
副書名	JR北陸線外2線連続立体交差事業に伴う調査							
巻次	第1分冊遺構編・第2分冊遺物編							
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第173集							
著者名	中原義史(編) 御嶽真義(編) 岩田隆 秋山綾子 青木隆佳 白川綾 田中勝之 中島啓太 中森敏晴 野路昌嗣 山本孝一							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒910-2152 福井県福井市安波賀町4-10 TEL:0776-41-3644 E-mail: maibun-c@pref.fukui.jp							
発行年月日	西暦2021年3月15日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡 番号					
ふくいじょうあと 福井城跡	ふくいけん 福井県 福井市 中央1丁目 大手1・2丁目 日之出1丁目 宝永1丁目	18201	01141	36° 6' 54" ~ 36° 6' 73"	136° 23' 03" ~ 136° 22' 38"	20060801 ~ 0929 20130801 ~ 0930 20141001 ~ 1128 20151101 ~ 20160531	6,580 (表面積)	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な 時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
福井城跡	城郭 城下町	中世 近世 縄文~古墳時代 奈良・平安時代	石垣、堀、道路、土 橋、土塀、屋敷境溝、 礎石建物、掘立柱建 物、井戸、園池、廃 棄土坑など		土器(土師質皿)、陶 磁器、瓦、木製品(下 駄・漆器)、石製品 (行火・石瓦)、金属 製品(刀装具・煙管)、 自然遺物(種子・骨) など		中ノ馬場地区で、そ の名称のもととなっ た直線的に延びる砂 利敷道路(中ノ馬場) が180mにわたり検 出された。 松原地区の屋敷境溝 の前身となる自然河 川から刀傷の残る頭 蓋骨が検出された。	
要約	JR北陸線外2線連続立体交差事業に伴う、えちぜん鉄道地点での調査。調査区は、福井城東北部の「松原」地区から「元割場」・「百間堀土橋」を経て、南の「中ノ馬場」地区にまたがる。大部分が武家屋敷地で、石垣・堀・道路・土橋などの街区に関わる遺構や、屋敷境溝・建物跡・井戸・園池などの屋敷地に関わる遺構が検出された。また、松原地区では、下層から古代(奈良・平安時代)の井戸や溝、古墳時代前期前葉の溝が検出された。							

福井県埋蔵文化財調査報告 第173集

福井城跡

—JR北陸線外2線連続立体交差事業に伴う調査—

第2分冊 遺物編

印刷 令和3年3月5日

発行 令和3年3月15日

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒910-2152 福井市安波賀町4-10

印刷 創文堂印刷株式会社
